



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月14日
東

上場会社名 株式会社エディア 上場取引所
 コード番号 3935 URL http://www.edia.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)賀島義成
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室室長 (氏名)米山伸明 (TEL)03(5210)5801
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	1,807	△2.1	94	—	87	—	70	—
2021年2月期第3四半期	1,845	△0.3	△52	—	△62	—	△138	—

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 70百万円(—%) 2021年2月期第3四半期 △138百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年2月期第3四半期	円 銭 11.58	円 銭 11.20
2021年2月期第3四半期	△22.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年2月期第3四半期	百万円 1,622	百万円 831	% 51.2
2021年2月期	1,689	758	44.9

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 831百万円 2021年2月期 758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,480	0.5	120	—	110	—	90	—	14.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年2月期3Q	6,128,000株	2021年2月期	6,119,600株
2022年2月期3Q	96株	2021年2月期	96株
2022年2月期3Q	6,119,556株	2021年2月期3Q	6,072,813株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境におきましては、2020年におけるモバイルコンテンツ市場は2兆6,295億円（対前年比112%）、中でもスマートフォン市場は2兆6,149億円（対前年比113%）と年々成長を続けております。スマートフォン市場の内、ゲーム市場が1兆5,288億円（対前年比109%）、電子書籍市場が3,946億円（対前年比137%）、動画・エンターテインメント市場が3,430億円（対前年比137%）、音楽コンテンツ市場も1,467億円（対前年比105%）と引き続き拡大傾向にあります（一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ、2021年7月現在）。一方で、当該ゲーム市場には多くのスマートフォンゲームが投入され、競争が激化しており、より高品質のゲームを投入するために開発費が増加する傾向にあります。また、電子書籍市場においても、インターネット上の小説等をコンテンツ化するビジネスモデルに多くの競合他社が参入しており、その作品確保の競争が激化しています。さらに、動画・エンターテインメント市場及び音楽コンテンツ市場においても、消費者ニーズの多様化に伴う構造変化に晒されています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大についても依然として予断を許さない状況であり、先行きの不透明感は払拭できていない状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは総合エンターテインメント企業として、エンタメIPの創出・取得とそれらのクロスメディア展開を加速させ、事業の多角化と収益力向上に注力して参りました。

当第3四半期連結累計期間のIP事業におきましては、ゲームサービスにおいて、様々なイベントを通じて長期運営タイトルの安定推移を目指したものの、前年同期比では売上が減少することとなりました。

一方で、オリジナルドラマCD『DIG-ROCK（ディグロック）』シリーズが引き続き人気を博し、CD販売に加えグッズ販売も好調を維持しております。

また、当社保有のレトロゲームタイトル「ヴァリス」を活用したクラウドファンディングを開始し、多くのファンの皆様から支援を受け、NintendoSwitch用ソフトとして提供を開始しました。「ヴァリス」以外のレトロゲームタイトルも欧米市場に向けてライセンスアウトするなど、海外からも注目を集めることができました。

さらに、グッズにおいては、オンラインくじサービスの『くじコレ』、女性顧客向けオンラインくじサービス『まるくじ』も人気IPとのコラボレーションを行うなど積極的に展開し、当社グループの収益に貢献いたしました。

出版事業におきましては、人気ライトノベルシリーズ・コミックシリーズの人気作の続巻、新シリーズ発売により堅調に推移しております。また、作品数の増加により電子書籍売上が増加し、海外へのライセンスアウトによる収益も計上する等売上が伸ばしております。

BtoB事業におきましては、他社のゲームサービスのローカライズ及び運営受託、音楽制作受託、法人向け各種コンテンツ制作受託など堅調に推移しております。

以上の通り、既存運営ゲームタイトルの売上減少により、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,807,440千円（前年同四半期2.1%減）と減収となったものの、IP事業におけるライセンスアウトやドラマCD及びグッズ販売等、利益率の高い売上が大きく伸長したことで、営業利益は94,109千円（前年同四半期は52,196千円の営業損失）、経常利益は87,236千円（前年同四半期は62,395千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は70,854千円（前年同四半期は138,531千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）と利益は大幅な改善となりました。

なお、当社グループはエンターテインメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、当期首より当社グループの各サービス内容を以下のように区分しております。

サービス区分	主なサービス
IP事業	ゲームサービス ゲームアプリケーションの企画、開発、運営 ライフェンターテインメントサービス モバイル向け実用サービスコンテンツやアプリケーションの企画、開発、提供 音楽レーベルサービス ゲームやアニメ関連の音楽、ドラマCDの企画、制作、販売、配信 グッズサービス アニメやゲーム関連のグッズ等の制作、販売 IPのライセンスアウト
出版事業	ライトノベル、コミック等の出版物及び電子書籍の企画、編集、出版
BtoB事業	受託開発・運用、システム・アプリ開発、漫画動画の制作

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,622,896千円となり、前連結会計年度末に比べ66,819千円の減少となりました。これは主に現金及び預金が増加したものの、売掛金が減少したことによるものであります。

負債合計は791,081千円となり、前連結会計年度末に比べ139,701千円の減少となりました。これは主に未払金や借入金が減少したことによるものであります。また、純資産合計は831,814千円となり、前連結会計年度末に比べ72,881千円の増加となりました。これは主に当第3四半期連結累計期間が四半期純利益となり利益剰余金が増加したことによるものであります

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であること、また当社グループを取り巻く環境の変化が激しいことから、業績予想は非開示としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定し、以下のとおり開示します。

2022年2月期連結業績予想数値(2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年4月14日付)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	2,480	120	110	90	14.70
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年2月期)	2,470	△23	△34	△80	△13.25

業績予想の概況

当第3四半期連結累計期間において、ゲームサービスの売上高は減少傾向も、IP事業におけるライセンスアウトやドラマCD及びグッズ販売等、利益率の高い売上が大きく伸長したことで、前期実績と比較して、売上は微減であったものの営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は大幅に改善しております。第4四半期連結会計期間においても同様の傾向で推移するものと見込まれる状況であり、これらを踏まえ2022年2月期の売上高につきましては2,480百万円、営業利益は120百万円、経常利益は110百万円、親会社株式に帰属する当期純利益90百万円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	896,876	930,214
売掛金	526,949	440,507
商品及び製品	45,107	47,425
仕掛品	10,894	24,342
原材料及び貯蔵品	69	86
前払費用	16,652	15,950
未収入金	26,544	22,419
その他	10,357	22,360
貸倒引当金	△19,969	△19,926
流動資産合計	1,513,482	1,483,379
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,358	0
工具、器具及び備品（純額）	2,532	4,731
有形固定資産合計	3,890	4,731
無形固定資産		
ソフトウェア	1,200	375
その他無形固定資産	16,000	13,000
のれん	51,861	35,169
無形固定資産合計	69,062	48,544
投資その他の資産		
敷金及び保証金	45,897	32,496
繰延税金資産	44,524	44,524
その他	12,859	9,219
投資その他の資産合計	103,280	86,240
固定資産合計	176,233	139,517
資産合計	1,689,716	1,622,896

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,721	173,937
短期借入金	286,250	173,750
1年内返済予定の長期借入金	44,987	39,328
未払金	153,134	93,173
未払費用	12,094	11,410
未払法人税等	13,987	8,964
未払消費税等	23,943	15,502
前受金	11,463	48,153
預り金	9,949	27,216
賞与引当金	11,896	22,536
情報利用料引当金	3,590	3,055
返品調整引当金	26,217	26,277
その他	—	387
流動負債合計	751,236	643,694
固定負債		
長期借入金	175,031	143,761
長期未払金	4,515	3,626
固定負債合計	179,546	147,387
負債合計	930,783	791,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,292	10,663
資本剰余金	1,460,145	728,911
利益剰余金	△2,162,532	91,511
自己株式	△117	△117
株主資本合計	758,787	830,968
新株予約権	145	845
純資産合計	758,932	831,814
負債純資産合計	1,689,716	1,622,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	1,845,849	1,807,440
売上原価	800,438	736,657
売上総利益	1,045,410	1,070,783
販売費及び一般管理費	1,097,606	976,673
営業利益又は営業損失(△)	△52,196	94,109
営業外収益		
受取利息	8	10
受取保険金	1,661	0
助成金収入	—	1,005
その他	526	589
営業外収益合計	2,196	1,605
営業外費用		
支払利息	9,156	6,327
新株予約権発行費	2,200	1,754
固定資産除却損	0	—
その他	1,039	396
営業外費用合計	12,395	8,478
経常利益又は経常損失(△)	△62,395	87,236
特別利益		
退職給付制度終了益	2,850	—
助成金収入	7,310	—
特別利益合計	10,160	—
特別損失		
店舗休止損失	12,577	—
事業整理損	61,388	—
本社移転費用	—	7,271
特別損失合計	73,966	7,271
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△126,200	79,964
法人税、住民税及び事業税	12,200	9,110
法人税等調整額	△8,723	0
法人税等合計	3,477	9,110
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△129,678	70,854
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,853	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△138,531	70,854

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△129,678	70,854
四半期包括利益	△129,678	70,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△138,531	70,854
非支配株主に係る四半期包括利益	8,853	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月26日開催の定時株主総会決議により、2021年7月31日付で、会社法第447条第1項及び会社法第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少し、これらをその他資本剰余金に振り替えるとともに、会社法452条の規定に基づき、増加後のその他資本剰余金2,183,189千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填を実施しております。なお、これによる株主資本の合計金額への影響はありません。

また、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ663千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金10,663千円、資本剰余金728,911千円、利益剰余金91,511千円となっております。